

保 存 活 用 計 画 書

景観資産の名称	市民のこころのふるさと 福知山城
申 請 者	福知山市

代表写真



1 位置及び範囲

【位置】



【登録範囲と範囲設定の考え方】

- ・ランドマークとなる視対象とともに、関連する区域として、都市公園として都市計画決定されている範囲（2.10ha）



2 自然、歴史、文化等からみた特性

景観資産の魅力

- ・福知山盆地が一望できる市中心部の丘陵地に建つ福知山城は、曲輪群を築いた平山城としての美しさを浮かび上がらせ、福知山市のランドマークとなっています。春は桜の名所として知られ市民の憩いの場となっており、法川を挟んで対岸にある親水広場は、市街地の身近な散策地として多くの市民に親しまれています。城周辺の地形が、龍が臥した姿に似ていたため「龍城」と称されていたことにちなんだ「昇龍橋」が親水広場から城へつながって、城と親水広場が一体となった良好な景観をかもしだしています。

自然的特性

- ・明智光秀により築城されたとされる福知山城は、現在の市街地南方から北東にのびる丘陵の上に築かれた城で（現在は線路・宅地などにより大きく地形が変化していますが）福知山盆地全体を一望することができ、眼下を流れる土師川・由良川の雄大な流れを眺望することができます。

歴史・文化特性

- ・「福知山城」は明治5年の廃藩置県で廃城となり一度は取り壊されましたが、天守閣が昭和61年に福知山市のシンボルとして再建されました。再建にあたっては、「瓦一枚運動」などの市民運動による寄付金があてられた経過があります。
- ・三層四階の天守閣は、下見板張の望楼型天守で続櫓と小天守を従えています。約400年前の築城当初の面影を残す本丸址石垣遺構は、「野面積み」「穴太積み」といわれる伝統的技法で積み上げられており、五輪塔や宝篋印塔の転用石が多く使われているのが特徴で福知山市の指定文化財となっています。ふくちやま音頭に謡われる「どっこいせどっこいせ」のお囃子は、福知山城築城の際、領民たちが石材や木材を城に運ぶ時の掛け声のもととなったと言われています。
- ・城内には、福知山城で唯一現存する建物遺構の銅門番所あかがねもんばんしよや、深さ50メートルもあるといわれる豊磐井とよいわたいなど、歴史的な遺構が残されています。
- ・福知山市は、明智光秀が築いた城下町が基礎となって、現在まで北近畿の商業や文化の中心として発展してきたという経緯があり、「福知山城」は福知山市民の心のよりどころとなっています。

周辺環境との関係

- ・福知山城公園周辺には、西日本三大清流の一つでもある「由良川」を配し、明智光秀が治水のために築いたと言われる「明智藪」が現存しています。

このほか、堤防沿いには京都府指定文化財である洋館・「松村邸」など、歴史的な建物も建っており、「城」と「川」の景観の中に溶け込んで、福知山らしさを醸しだしています。



3 景観の保存、育成及び創造に関する事項

法律や条例などによる規制

- ・福知山市都市公園条例に基づき、公園内における許可を要する制限行為や禁止行為を規定しています。

景観づくりの目標像

- ・福知山市民が福知山城の景観を「将来に残すことができる貴重な財産」と捉え、守り育てていくことで「ふるさと福知山」を感じることができるようになることを目標とします。

景観づくりの取組

[現状]

都市公園としての整備

- ・福知山城公園については都市公園として整備をすすめてきたところで、今年度（19年度）中には「釣鐘門」の復元ができる予定で、良好な景観への取組みが着々と進められています。

ボランティア等の活動

- ・城の観光ガイド（SKYガイド）や、城下町を考える会などによる城下町のまちづくりイベント、歩こう会によるごみ拾いなどのボランティア活動等により、良好な景観を守っていく活動が続けられています。

[課題]

高層建築等への懸念

- ・周辺部には現在のところ高層建築物等はありませんが、市内には高層建築物の建設が相次ぎ今後、城周辺部においても良好な景観への影響が懸念されます。早急に良好な景観形成への取組みを進めていく必要があります。

景観を阻害する老築化した公共施設

- ・周辺部には、老築化した公共施設（プールや歩道橋）があり、良好な景観を阻害する要因の一つとなっています。

[解決のためのアイデアや方針]

ランドマークとなる景観の保全

- ・今後、景観計画の策定や景観条例の施行を検討し、福知山城周辺について眺望する視点場の抽出や眺望景観を確保するための高さ制限の設定などをします。

福知山城にあわせた公共施設の改修

- ・歩道橋の整備や石畳舗装をおこないます。

また、周辺部の整備については、後述の「景観を活かしたまちづくり活動への展開に関する事項」のとおりです。

4 景観を活かしたまちづくり活動への展開に関する事項

景観を活かしたまちづくり活動

[現状]

お城祭り

・毎年4月には「ふくちやまお城祭り」を開催して、市内では「福知山踊りパレード」、城周辺では「城フェスティバル」などの催しが行われています。今後とも継続して城下町「ふくちやま」を盛り上げる取組みを進めていきます。



[課題]

市民の意識の向上

・「福知山城」に関して、いくつかの市民団体やボランティアグループがそれぞれの活動を積極的に行いながら、景観にかかる取組みをしていますが、さらに幅広く市民意識の向上を図る必要があります。

福知山城公園およびその周辺の魅力創出

・現在親水広場の向かい側に、市民プールがありますが、建設からかなりの年月がたって老朽化しており、景観上も良好とは言えません。

[景観を活かしたまちづくり活動のアイデアや方針]

市民意識の向上と地域活動の活性化

・今後、景観に関するシンポジウムやワークショップなどを開催し市民意識の向上をはかります。また、景観資産登録されることで現在福知山城に関わっているこれらのグループだけでなく、広く景観にかかる市民意識を向上させて、住民団体やまちづくりにかかる団体等を含めて、福知山城の景観を守る市民活動を盛り上げていきたいと考えます。

福知山城公園およびその周辺の魅力創出

・福知山城周辺整備計画に基づいて、市が中心となり福知山城周辺に道の駅等を配し、あわせて休憩施設などの整備をしていく予定ですが、建築物等は福知山城公園の景観に合うような形態にするなど、福知山城の景観に配慮した整備をし、「人」「もの」「情報」が集まる北近畿の都にふさわしい魅力あるものにしていきたいと考えます。

5 その他

・特になし

参考資料

登録範囲における景観に関する規制誘導事項のまとめ

都市計画関連

- ・都市計画区域内
- ・市街化区域（近隣商業地域（容積率／建ぺい率：200／80）準防火地域

《都市計画図参照》



- ・都市計画公園
 - ・特殊公園 2.10 h a
- 都市公園条例による規制区域